

史實調査參考資料報告

摘要

所在地 沖繩 本島
所屬部隊 第四九共地地区隊本部

職官 予備役陸軍中尉
氏名

終戦時
モイヲ記ス

支那予
変以降
ニ於ケル
自山略
歴

昭和六年一月五日支那戰線ヲ掃蕩シ召集解除
昭和十九年七月十六日第四九共地地区隊本部要員トシ
テ東部第六十三部隊ニ入隊。同年八月十日那霸落
上陸兵站業務ニ従事ス。同年十月十日南西諸島空軍
予備隊第四九共地地区隊本部要員トシ
戦時ニ参加現在ニ至ル。

職ニ及更
及至ナル迄
加戦斗名ヲ
記ス

所屬部隊
編成年
月日及編
制北米備
ノ概要

所屬部隊 第四九共地地区隊本部
編製裝備 二周ノハ業務務極重要裝備トシ且軍醫
部團長トシテハ部隊全般ニ関スル事項ヲ司ルハ詳細
ニテ尚勤務部隊タル野戰重砲隊ニ對シテハ同
様編製裝備ニ對シテハ詳細ニテ且軍醫部
隊ニ對シテハ砲隊ノ修理材料トシテ且軍醫部
隊ニ對シテハ修理材料トシテ且軍醫部
隊ニ對シテハ修理材料トシテ且軍醫部

最後ノ所屬
部隊ヲ記ス
尚其以降
所屬部隊
ノ令ヲモ概
記ス

所屬部隊
作戰經過
ノ概要

敵陸軍歩兵連隊ノ戦時ニ至ルハ兵站地區ハ全力ヲ以テ各部隊
糧秣輸送並ニ砲彈各種彈藥ヲ輸送スルニ是ヲ為シテ克服從事
ス。首里戰ニ入リテ部隊ヲ支援シテ西面由旅團ニ配属歩兵戰隊トシテ
加一部ハ石部隊ニ配属各所攻防戰斗ニ從事シ他砲彈
輸送等凡テ輸送業務ニ從事シ。唐文仁ヲ最後ニ使兵
傷兵ニ係トシ敵中ニ於テ行ヒテ去リ

終戦時
ノ戦斗
ノ概況

終戦時
ノ戦斗
ノ概況

唐文仁附近ノ戦時ニ參加尚生全シテハ各所築壕又ハ
自然壕ノ内ニシテ潜伏スルニシテ復時節ノ到来ヲ待テ我利ノ
ラハ八月十五日ノ終戰ノ報ヲ受テ米塚ノ保護下ニ入ル
當時小砲砲彈破片創傷ニテ傷重ニテ夜ニ至リ半死中ニ米
軍陸軍病院ニ收容シテ治療セシメ友軍傷病兵ノ治療ニ同
病院ニ於テ協力力由地ニ送リテ治療セシメ由介方長好ナリ

終戦時
ノ戦斗
ノ概況

歸郷又ハ
連絡先

還送此ノハ比較的月滑ニシテ終戦ニ至ル迄行ハス

終戦時
ノ戦斗
ノ概況

其他
考案

ナシ

終戦時
ノ戦斗
ノ概況